

広東語と日本語の相似点及び相違点に関する一考察

黄 力游・林 翠芳

アブストラクト

本稿では広東語と日本語の音声と語彙表現にスポットを当て考察を行った。2章では広東語の入声と日本語の促音について考察した。広東語の入声と日本語の促音は古代漢語の入声が現代まで引き継がれたものとみることができ、広東語は1文字の単位で入声現象があるが、日本語の場合、一般に2文字以上の語に促音現象が起きる。3章では広東語語彙と日本語語彙について考察を行った。広東語と日本語の中に継承された古代漢語について、語の基本義用法においては古代漢語の意味を継承しながらも、派生義ではそれぞれ独自の用法を形成している。また、広東語における外来語の浸透は日本語に遠く及ばないが、中国標準語よりは外来語が多く用いられている。明治以降、日本は欧米文化との接触により、多くの翻訳語——和製漢語が誕生し、それが中国に逆輸入され、現在では「刺身、寿司」等の食文化を表わす語彙を中心に中国標準語及びに広東語に広く浸透している。

キーワード：日本語、広東語、促音、古代漢語、同形異義語、外来語

1. はじめに

「広東語」は、中国では「広州話」または「粵語」と称されている。主に広東、広西、香港と澳門で使用され、それぞれ6700万人、2500万人、700万人、55万人の広東語話者を有している。また、上記中国の地域以外で、東南アジア、アメリカ、オセアニア、ヨーロッパ、アフリカ等にも広東語話者が多く存在する。地球全体でおよそ1億2000万人の広東語話者がいるという¹⁾。中国の7大方言において、広東語は重要な位置を占めている。特に香港と澳門の中国への返還、そして、広東経済の急成長に伴い、広東語の影響力はますます強くなり、広東語の北上現象により、中国標準語（普通話）及びその他の方言とはかつてない交流、接触が見られた。「搞定／解決する、片づける」「买单²⁾／勘定する」「老公／亭主、夫」「老婆／女房、妻」「打的／タクシーを拾う」「生猛／生きのいい」「发烧友／熱烈なファン、マニア」等々、多くの広東語表現が中国標準語に浸透し、中国社会科学院編纂の『現代漢語詞典』では見出し語として扱われている。これらの表現はすでに新聞、雑誌、映画、テレビなどのメディアで至るところで目にし、そして耳にすることができる。

2. 広東語の入声と日本語の促音

中国標準語と広東語は音声上大きな相違が見られる。一部標準語にある発音が広東語にはない。たとえば、標準語では「zh、ch、sh」と「z、c、s」、「s」と「x」、「l」と「n」を区別しているが、広東語では上記子音に対する区別がない。そのため、広東語話者にとっては、これらの音声を標準語できちんと発音することはかなり難しいとされている。テレビでよく広東語話者が話す標準語のマネをする漫才等が見られることから、広東語スピーカーにとってそれらの発音の区別がいかに難しいかを垣間見ることができる。

古代漢語に存在していた入声が、現在の中国北方の方言ではほとんど消え、陰平、陽平、上声と去声にとって替わら

¹⁾ 「百度百科」（インターネット）による。 <http://baike.baidu.com/view/57525.htm>

²⁾ 「埋单」とも書く。広東語では「埋单」が本来の表記であるが、分かりやすいように現在では、俗字として「买」が使われるようになった。「埋」は広東語では「ある方向に近寄る」の意味があり、「行埋嚟（走过来）／こちらにおいで」のように使われ、「埋单」も同様、「レストランの店員に来てもらって、勘定する」の意味である。

れた。しかし、広東語では古語の入声は継承されている。その主な形式を以下に示す³⁾。

- ① [-k] : 逼、迫、辟(bik⁷) ; 博、搏、驳(bok⁸) ; 薄(bok⁹) ; 笛(dek⁹) ; 的(dik⁷) ; 滴、迪、敌(dik⁹) ; 剝、琢、啄(deok⁸) ……
- ② [-p] : 搭、瘩、答(daap⁸) ; 踏、蹋、沓(daap⁹) ; 达、鞑(daat⁹) ; 谍、叠、喋(dip⁹) ; 跌、秩、迭(dit⁹) ……
- ③ [-t] : 不、毕、笔(bat⁷) ; 拔(bat⁹) ; 必(bit⁷) ; 螫(bit⁸) ; 别、蹇(bit⁹) ; 泼、钵(but⁸) ; 勃、渤、脖(but⁹) ……

上に挙げたように、広東語の主な子音韻尾の入声形式には[-k] [-p] [-t]が挙げられる。広東語には北方方言にない「點心(dim²sam¹)」のような入声と閉口音が大量に存在し、その上、声調も北方方言の倍以上あるため、北方の人にとっては、広東語を習得するのはそう容易なことではない。北方の人がよく「七(tsat⁷)」を「tsa」に、あるいは「好食(hou²sik⁹)」を「housei」と発音してしまうのも、広東語の入声の特徴をきちんとマスターできていないからではないかと考えられる。

日本語の促音は古代漢語の入声の影響が現代まで引き継がれたものとみることができる。では、日本語の促音と広東語の入声に相違があるのだろうか。以下に日本語の促音例を示す。

- ① 悪化(あつか)、読解(どっかい)、牧歌(ぼっか)、墨客(ぼっかく)、骨格(こっかく)、隔靴搔癢(かつかさうよう)、別館(べっかん)、脚気(かっけ)、発見(はっけん)、必見(ひっけん)、国交(こっこう)、独行(どっこう) ……
- ② 抜歯(ばっし)、必修(ひっしゅう)、出生(しゅっせい) ……
- ③ 徹底(てってい)、拔擢(ばってき)、拔刀(ばっとう)、筆頭人(ひつとうにん) ……
- ④ 一杯(いっぱい)、八面六臂(はちめんろっぴ)、撤兵(てっぺい)、八方美人(はっぽうびじん) ……

上の例で分かるように、日本語の促音形式は広東語の入声形式といくつかの点で異なっている。日本語の場合は、「カ」「サ」「タ」「バ」行の前にのみ促音現象が起き(ただし、外来語は例外である)、いずれも小さい「っ」で表記される。これに対して、広東語は[-k] [-p] [-t]の三つの形式がある。また、日本語の場合、一般に2文字以上の語に促音現象が起きるが、広東語の場合、1文字の単位で入声現象があり、「入声+入声」の場合、どちらも促音で発声し、たとえば、剥裂→pok⁸lit⁹、插入→tsaap⁸jap⁹、斥責→tsik⁷dzaak⁸、出发→tsoet⁷faat⁸、积极→dzik⁷gik⁹、杰出→git⁸tsoet⁷、接触→dzip⁸dzuk⁷、節目→dzit⁸muk⁹、昔日→sik⁷jat⁹、畜牧→tsuk⁷muk⁹となる。

両語の促音語彙の比較を通して、「悪化(あつか) → 悪化(ok⁸faa³)、読解(どっかい) → 読解(duk⁹gaa²)、必修(ひっしゅう) → 必修(bit⁷sau¹)、出生(しゅっせい) → 出生(tsoet⁷sang¹)、徹底(てってい) → 徹底(tsit⁸dai²)、拔刀(ばっとう) → 拔刀(bat⁹dou¹)、一杯(いっぱい) → 一杯(jat¹bui¹)」にみられるように、日本語で促音になる語が対応する広東語においても促音になっていることを確認することができた。しかし、その逆は真ではない。つまり、広東語で促音になる語が日本語では必ずしも促音化されないことは、「辞职(tsi⁴dzik⁷) → 辞职(じしょく)、畜生(tsuk⁷sang⁷) → 畜生(ちくしょう)、革命(gaak⁸ming⁸) → 革命(かくめい)、六(luk⁹) → 六(ろく)、石(sek⁹) → 石(いし)、形式(jing⁴sik⁷) → 形式(けいしき)」の例をみればわかる。

広東語には大量の入声語が存在しているが、それに比べ日本語の促音例は比較的少ない。入声はもともと古代漢語に由来し、その影響が今日まで広東語にとどまっているものである。広東語の入声はこの方言に音声的特色を与えているだけでなく、独特の修辭的効果をもたらすことがある。柳宗元の詩に「千山鳥飛絶、万径人踪灭；孤舟蓑笠翁，独釣寒江雪。(千山 鳥飛ぶこと絶え、万径 人蹤滅す、孤舟 蓑笠の翁、独り釣る 寒江の雪。)」があるが、句尾の音「絶

³⁾ ローマ字の後ろの上付き数字は広東語の声調を示す、以下同様。出典：『广州话正音词典』詹伯慧

(dzyt⁹)”、“灭(mit⁹)”、“雪(syt⁹)”が広東語では入声音で発音されるため、音の強調によりこの詩句が一種の美的感覚を帯びるのである。同様に、日本語の場合も、たとえば「日本」は「ニッポン」と「ニホン」の二通りの言い方があるが、スポーツの国際試合における応援では促音の「ニッポン」が発せられるのが普通である。この場合、「ニホン」と応援しても、迫力があまり感じられないのではなかろうか。

3. 広東語語彙と日本語語彙

3.1 広東語と日本語に残存する古代漢語の語彙

中国語の発展の過程で、多くの古語が消滅し、現代中国語にはごく一部が文章表現として生き残っているにすぎないが、同じ中国語でも、広東語にはなお多くの古語表現が継承され、文章表現だけでなく、口語表現にも頻用されているのである。しかし、広東語は喉頭音を使う発声が多いため、響きは上品さに欠けるようなイメージがあるが、実際には広東語は古語を頻用する上品な言語であるということができよう。以下に広東語に残存するいくつかの例を示す。

- ① 走：『说文・走部』「走，趨也。」「走」は古代漢語では「跑／走る」、「趨」は「快跑／速く走る」の意味である。広東語では「跑」も使われるが、古語「走」の意味のままで使われることも多い。例：「人饿唔怕丑，鸡饿赶唔走／人は飢えている時は醜態を気にせず、鶏は飢えている時は追い出そうとしても追い出せない」「走命咁走(玩命地跑)／必死に走る」「走难咁走(像走难一样急奔)／避難するがごとく急いでいく」「走鸡(溜号)／ずらかる」(丸括弧の中は中国標準語表現である、以下同様)等。
- ② 食：『说文・食部』「食，一米也。」広東語では「食」を、標準語の「吃」あるいは「抽」の替わりに用いる。例：「食飯(吃饭)／ご飯を食べる」、「食餸(吃菜)／料理(おかず)を食べる」、「食药(吃药)／薬を飲む」、「食烟(抽烟)／煙草を吸う」等。
- ③ 朝：『说文・言部』「朝，旦也。」朝の意味。例：「今朝(今早)／今朝」、「听朝(明早)／明朝」、「朝朝(每天早上)／毎朝」、「成朝(整个早上)／朝ずっと」、「朝见口，晚见面／朝に会い、夜にまた会う」等。
- ④ 诈：『说文・言部』「詐，欺也。」広東語では「ふりをする」の意味。頻用される形態素の一つである。例：「诈帝(假裝)／ふりをする」、「诈死(装死)／死んだふりをする」、「诈病(装病)／仮病」、「诈傻扮懵(装糊涂)／しらばくれる」、「诈癲扮傻(装疯卖傻)／とぼけたりしらばくれたりする」、「诈鬼诈马(装神扮鬼)／神がかりになったふりをして人をたぶらかす」等。
- ⑤ 飊：『说文・风部』「飊，扶摇风也。」広東語では、依然と古代漢語の「風のように速い」の意味を有している。例：「酒后飊车(开快车)，造成惨祸／飲酒運転の上、スピードを出し過ぎて、惨事を招く」、「仲未够钟，飊咁快做乜嘢(还没到时间，走那么快干什么)／まだ時間になっていないのに、そんなに速く歩いて、どうするの」、「一听有玩嘅，即刻飊出去(一听有玩儿的，马上跑了出去)／遊べると聞いて、すぐに飛んで行った」等。

日本語にも古代漢語の意味が残存している表現が多く存在する。漢語「走」から和語「走る」が生まれ、意味は現代中国語の「跑」に相当する。広東語の「走」が古代漢語と現代中国語の両方の意味を兼ね持っているのに対して、日本語の「走」の基本義は「走る」の意味のみである。また、「朝」も「朝早くから夜遅くまで働く／从朝做到晚」の例のように、広東語の「朝(dziu¹)」と同じ意味を表す。そして、「病気と偽る(詐る)／诈病」の「詐る」も同様である。広東語でいう「行街(逛街)／町をぶらつく」、「行路(走路)／歩く」の「行(haang⁴)」も日本語の「行く」と同様、古代漢

語の意味を継承している。

古代漢語の漢字の意味の継承については、中国標準語よりも広東語と日本語のほうが勝っているようだ。とはいえ、言語は絶えず発展するものであり、広東語と日本語は共通点をもつと同時に、相違点も明らかである。「走」を例に挙げると、日本語では基本義「走る」のほか、派生義用法も活発である。以下にその具体例をいくつか示す。

① 乗り物などが動く（行驶；奔驰）

例：ものすごいスピードで車が何台も走って行った。（好几辆车急速驶了过去。）

② ある方向に通じている（横贯；纵贯）

例：山脈が島を南北に走っている。（岛上山脉纵贯南北。）

③ 瞬間的に現れて速く動く（掠过；划过）

例：夜空に稲妻が走った。（夜空划过一道道闪电。）

④ 逃げ去る。逃亡する（逃跑；逃窜）

例：彼は外国に走ったらしい。（他好像逃到国外去了。）

⑤ ある方向・状況へ急激に傾く（追求；偏向）

例：何事も極端に走るのはよくない。（什么事情走极端都不好。）

広東語も「走」の派生義用法があるが、日本語の派生義的用法とは違っている。たとえば、「车开走咗（车开走了）／車はすでにいってしまった」の場合は「离开／離れる」、「阿汪叔去年走咗了／汪おじさんは去年亡くなった」の場合は死の婉曲表現となり、また、「你系啱画乜嘢啊？画到走晒样嘎（你在画什么呀？画得都走样了）／何を描いているの。ぜんぜん似ていないじゃない」の場合の「走」は「元の形を失ったり変えたりする」の意味を表わす。

また、古代漢語の影響により、広東語では依然と単音節の語の比重が大きく、対して標準語では2音節語が優勢を占める。「房间→房／部屋、靴子→靴／靴、衣服→衫／服、裙子→裙／スカート、相片→相／写真、监狱→監／刑務所、讨厌→厌／うるさい、きらう、憎恨→憎／憎み嫌う」等はその例である（上記例は、矢印左：中国標準語、矢印右：広東語となっている）。また、日本語対中国標準語の場合も、「質（しち）→典当、夏（なつ）→夏天、髪（かみ）→头发、時（とき）→时间、父（ちち）→父亲、数（かず）→数目・数量、緑（みどり）→绿色・树木」等の例にあるように、1漢字対2漢字の形で使われている。ただ、日本語の場合、ほとんどの漢字には音読みと訓読みがあり、上記漢字が単独に使用される場合は訓読みとなるため、2音節以上からなり、広東語とは音節に関しては違ってくるが、その点逆に現代中国語の2音節と似てくる。

上の例で分かるように、広東語の中に残存している古代漢語の1漢字の語彙は、現在でも単独で用いられることが多く、また語構成においても活発である。一方、日本語に残存している古代漢語の1漢字の語彙は訓読みで和語の形で用いられる。しかし広東語と日本語は、語の基本義用法においては古代漢語の意味を継承しながらも、派生義ではそれぞれ独自の用法を形成している。

3.2 広東語と日本語の同形異義語

漢字や同形語の共有は中国の日本語学習者や日本の中国語学習者を利するものと一般的には考えられている。しかし、実際には両言語の発展過程、社会背景、文化背景の違いにより、それら同形語に意味の拡大や縮小、語義の向上や下落、

語感の強弱、語義そのもの等において相違が生じているのである。また、その意味の相違の線引きが難しい語も多く存在するため、日中同形異義語は膨大な数にのぼる。王永全ほか編著の『日漢同形異義語詞典』（商務印書館・東方書店2009）では1400組の語を取り挙げているが、実際、未収録の同形異義語もまだ多く存在するのではなかろうか。

以下、日本語、広東語及び中国標準語の同形異義語の相違点を中心に見ていきたい。

表1 日本語、広東語及び中国標準語における同形異義語例

語例	日本語の意味	広東語の意味	中国標準語の意味
熱気（ねっき）	暑い空気	のぼせ	暑い空気
地下（ちか）	地面の下	建物の一階	地面の下
八卦（はっけ）	占いの一種	口出しをする	占いの一種
化学（かがく）	自然科学の一部門	質が悪い、長持ちしない	自然科学の一部門
得意（とくい）	得手	可愛い	満足する
有心（うしん）	思慮・分別の深いこと	気遣いをうける	～しようと思っている
無料（むりょう）	ただである	無能	
有料（ゆうりょう）	お金を徴収する	才能がある	
無用（むよう）	役に立たないこと、不要	能力がないことを指す	使い道がない
有力（ゆうりょく）	強い可能性、見込みがある	力持ち	力強い、重みがある
単位（たんい）	高校・大学で、進級・卒業の資格を認定するために用いられる学課履修計算の基準	住宅（香港広東語）	行政機関、団体
冷氣（れいき）	冷たい空気	エアコン	空気冷却、温度を下げる
老公（ろうこう）	年老いた貴人を敬っている語	夫	夫（広東語からきている）
老婆（ろうば）	年をとった女性。老女。老嫗	奥さん	奥さん（広東語からきている）
老母（ろうぼ）	年老いた母	母	
焼肉（やきにく）	牛・豚などの肉や内臓にたれをつけ、直火で焼きながら食べる料理	大切りの豚肉（皮つき）をじか火であぶって焼いたもの（調理済みの豚肉）	調理済みの肉
発毛（はつもう）	毛が生えること	カビが生える	怖がってびくびくする
隔離（かくり）	断絶する	隣人	他から引き離して接触を避けること
單車（たんしゃ）	オートバイ・スクーターなど	自転車	
放水（ほうすい）	水を出すこと	不正行為に手をかす	水を出すこと
後生（ごしょう）	あの世	若い	若い人

注：スペースの都合上、語例では日本語表記のみを記す。

表1では日本語と広東語における典型的な同形異義語をいくつか例に挙げたが、「無料／無料」「有料／有料」等、中国標準語で使われないものもある。広東語では「無料／無料」「有料／有料」は頻用されている表現であり、「有料無料睇吓佢整出来的嘢就知嘎啦(有没有本事，看看他做出来的东西就知道了)／能力があるかどうかは彼が作ったものを見れば分かる」のように使われる。また、表1に挙げた例の中には、日本語と中国標準語の意味は同義であるが、広東語が異なる意味を有しているものがあり、「地下」「八卦」「化学」等がそれである。それぞれが「嗰间百货店地下卖化妆品，二楼卖女装衫。(那家百货商店一楼卖化妆品，二楼卖女式服装。)/その百貨店の一階は化粧品売り場、二階は婦人服売り場となっている」「嗰个女人好八卦嘎。(那个女人爱多嘴嚼舌头。)/彼女は何でも口出しをしたがる」「枝笔好化学，写唔到几个字就坏咗。(这枝笔质量很差，没写几个字就坏了。)/このペンは質が悪く、たいして使っていないのにもう壊れた」のように使われる。中には「発毛／发毛」のように、日本語、広東語、中国標準語の3者とも違う意味で用いられている例もある。中国標準語では「发毛／発毛」は「怖がってびくびくする」の意味で使われるが、広東語は「カビが生える」、そして日本語では「毛が生える」の意味で使われている。現代の日本社会はストレス社会と言われるほどで、多くの人は毎日ストレスを抱えながら生きている。そのため、年若くして禿げたりする人も珍しくなく、テレビ・雑誌等で発毛剤の広告をあまた目にする状況である。

3.3 広東語と日本語の外来語

広東語には中国標準語よりも外来語が多く存在する。その理由として、広東は外国との通商が多いことや、かつて香港と澳門が植民地だった時代に、大量の外来語を取り入れたことが考えられる。一方、日本語もカタカナという表音文字のお蔭で、多くの外来語が導入されている。

表2 広東語と日本語の外来語例 (括弧の中は中国標準語)

広東語	日本語	広東語	日本語
巴士(公交车)	バス	恤衫(衬衣)	シャツ
的士(出租车)	タクシー	贴士(小费)	チップ
波(球)	ボール	咪(话筒; 麦克风)	マイク
芝士(奶酪)	チーズ	泊车(停车)	駐車; パーク; パーキング
朱古力(巧克力)	チョコレート	揸车(开车)	運転; ドライビング
菲林(胶卷)	フィルム	水喉(水管)	水道管
车啡(车票)	チケット; 切符	(领)呔(领带)	ネクタイ
士巴那(扳手)	スパナー; レンチ	士的(手杖)	ステッキ; 杖
恤篮(投球)	シュート	士打胆(灯管启动器)	スターター
基佬(同性恋)	ゲイ	甫士(姿勢)	ポーズ
波士(老板)	ボス	柯(电话传呼)	コール
阿恤(警察)	お巡りさん; 警察; ポリス	镭射(激光)	レーザー
妈咪(妈妈)	ママ	拍档(伙伴)	パートナー
爹哋(爸爸)	パパ	啫喱(果冻)	ゼリー

表2で分かるように、「水喉（喉は英語の hose から）」⁴の一例を除き、ほとんどは日本語にも対応する外来語が存在している。しかし、中国標準語の場合は、ほぼ漢語語彙であり、表2で取り上げている例で純粋な外来語として挙げられるのは「巧克力」くらいである。表2からも分かるように、標準語より広東語のほうが外来語の使用が多いといえる。

とはいえ、広東語における外来語の浸透は日本語に比べ、数からして遠く及ばない。たとえば、「フィールド、キャパシティ、バリアフリー、イノベーション、カンニング、ガバナンス、ビジョン、アプローチ」等はいずれも広東語には対応する外来語がない。漢字は表意文字であるが、それに対して、仮名は表音文字であるため、日本語への外来語導入に大きな役割を担ったと言える。しかし、日本語における外来語の増加には凄まじいものがある。それを是正する形で、2002年から2006年まで都合4回にわたり、国立国語研究所「外来語」委員会より「“外来語”言い換え提案」が出された。この提案とは、公共性の高い場で使われている分りにくい「外来語」について、言葉遣いを工夫し提案するものであった。

3.4 広東語と日本語における相互の影響

「食は広州にあり」というように、広東語には数多くの地方の食文化を反映する表現がある。「飲早茶／飲茶、叉焼／チャーシュー、云吞／ワンタン、焼賣／シューマイ、蛋挞／タルト、老抽／濃い口醤油、生抽／薄口醤油、涼茶／漢方茶、大排档／露店の飲食店街、老火靚湯／煮込みスープ」等はその例として挙げられる。中国北方地域の人でもこれらの事柄に触れるときは、広東語の表現を借用することが多い。日本人も「飲茶・ヤムチャ、叉焼・チャーシュー、焼売・シューマイ、雲吞・饅頭・ワンタン、點心・テンシン」等の言葉を日本語の中に取り入れている。広州の食文化の影響の大きさを物語っている。

一方、中国標準語の中に、日本語からの借用語が少なからず存在する。「服务／服務、服从、命令、节约／節約、保健、克服、交换、申请／申請、联想／聯想、停止、例外、场合／場合、场面／場面、道具、玩具、仓库／倉庫、武士道、大本营／大本營、三轮车／三輪車」等は和製漢語からの借用、また、「教育、文学、艺术／芸術、政治、经济／經濟、文化、社会、革命、改造、阶级／階級、劳动／労働、进步／進歩、思想、法律、环境／環境」等は日本人が欧米語の表現を漢語表現に翻訳し（多くは明治維新期）、それを中国語が借入した。そして、日中関係が中断した時期においても、日本と香港（広東語地域）や台湾とは密接な交流があったため、日本語の語彙がこの二つの地域に影響を与え続けていた。また、中国本土も20世紀の70年代末から改革開放政策が実施され、それに伴い香港が対外交流の窓口となり、さらに台湾との行き来も日増しに盛んになってきたことにより、日本語からの借用語はこの二つの地域を通じて、大陸本土に押し寄せたのである。「达人／達人、激安、料理、刺身、寿司、回转寿司／回転寿司、纳豆、乌冬／うどん、便当／弁当、发泡酒／発泡酒、茶道、花道、法人、职场／職場、会社、株式会社、放送、人气／人気、素颜／素顔、民宿、物语／物語、演艺／演芸、芸能／芸能、入籍、写真、男优／男優、女优／女優、親子／親子、研修、配送、空港、新干线／新幹線、居酒屋、忘年会、空手道、商店街、过劳死／過労死、新登场／新登場、人間蒸发／人間蒸発、自动贩卖机／自動販売機」等々、その例は枚挙にいとまがない。

4. 終わりに

本稿では、広東語と日本語の音声、語彙等における相似・相違点について考察を行った。日本語を第一言語とする広東

⁴ 日本語には「police」に対応する外来語「ポリス」もあるが、日常的にはやはり「警察」を用いることが多い。また、「hose」に対応する外来語には「ホース」があり、「消火ホース」、「シャワー用ホース」等の例がある。

語学習者、並びに広東語を第一言語とする日本語学習者に多少なりとも役立てればと願っている。一つの言語を習得するにあたって、その言語の特徴を捉えることが極めて大切であると痛感している。

最後に以下のことについて提案したい。広東語話者が中国標準語の「n」と「l」の区別に困難を覚えている実態については冒頭でも触れたが、たとえば、「能够(nenggou)」を「lenggou」に、「男人(nanren)」を「lanren」に、「那个(nage)」を「lage」に、「拿来(nalai)」を「lalai」に、「南方(nanfang)」を「lanfang」に、「很难(hennan)」を「helan」に、「你(ni)」を「li」に、「脑袋(naodai)」を「laodai」に、それぞれ発音する傾向がある。しかし、一部の広東語標準音字典では、上例のように「l」と発音するものを「n」と表記しており⁵⁾、誤解を招くことになり兼ねない。今後はこうした表記を中国標準語の拼音に合わせるべきではないと考える。

参考文献

- 許慎. 2004. 『説文解字』 中華書局
- 対外貿易経済大学. 2002. 『日中辞典』 小学館
- 汪如東. 2004. 『漢語方言修辭学』 学林出版社
- 駱小所. 2001. 『漢語言專題研究』 雲南人民出版社
- 詹伯慧. 2002. 『広州話正音字典』 広東人民出版社
- 陸丙甫. 2001. 『語言研究論集』 中国社会科学出版社
- 許金龍. 1992. 『対比語言学概論』 上海外語教育出版社
- 黄家教. 1997. 『漢語方言論集』 北京語言文化大学出版社
- 漢語大詞典編輯委員會. 1986. 『漢語大詞典』 漢語大詞典出版社
- 黄力游・林翠芳. 2004. 『日漢同形異義詞詞典』 外語教学与研究出版社
- 陳建民・譚志明. 1993. 『語言与文化多学科研究』 北京語言学院出版社
- 中国社会科学院語言研究所詞典編輯室. 2002. 『現代漢語詞典』 商務印書館

⁵⁾ たとえば、「能」は「nang⁴」、「男」は「naam⁴」、そして「那」は「naa⁵」と表記されているが、それぞれを「lang⁴」、「lang⁴」、「laa⁵」と表記すべきではないかと考える。